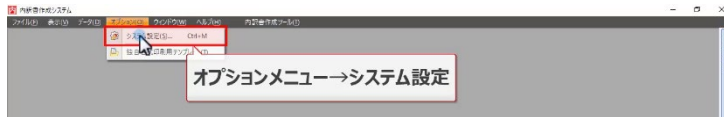


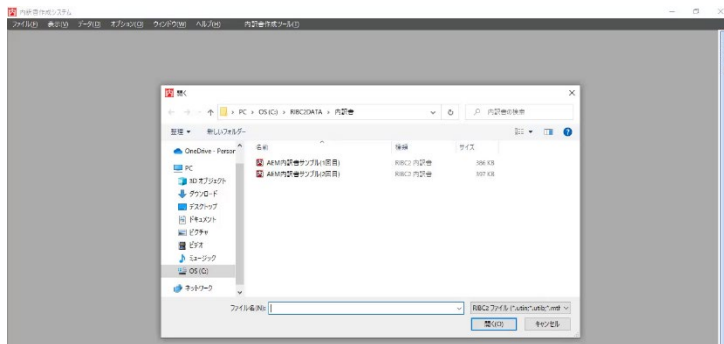
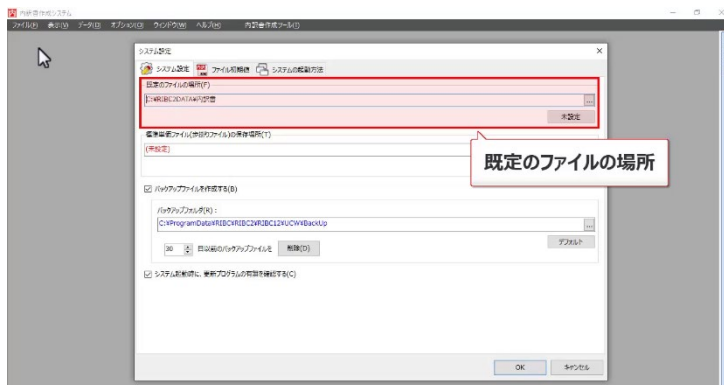
③システム設定

a.システム設定

[オプション]メニューから[システム設定]をクリックします。

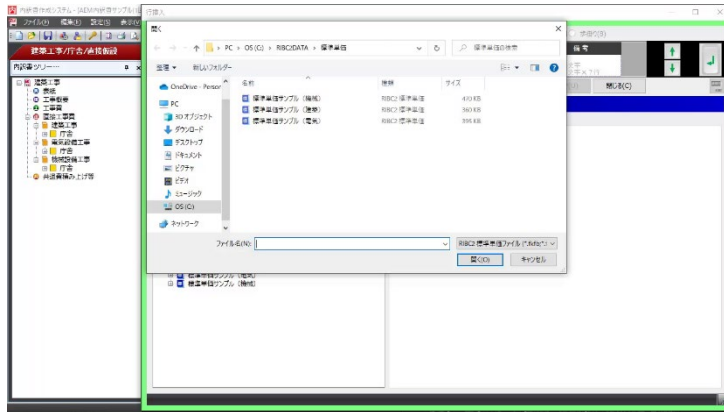
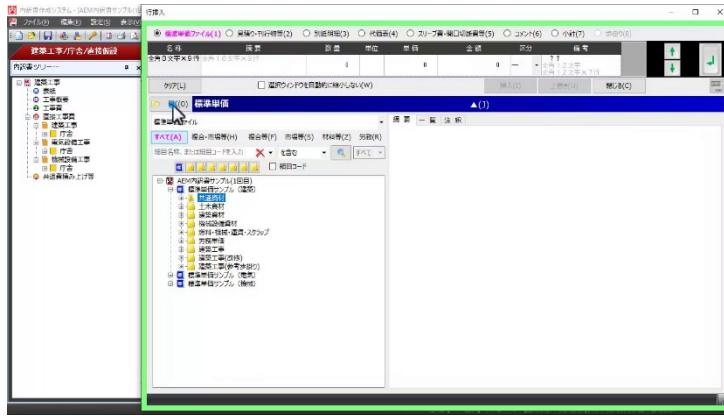


既定のファイルの場所は、
ファイルを開いたり保存したりするときに表示されるフォルダの場所を設定します。

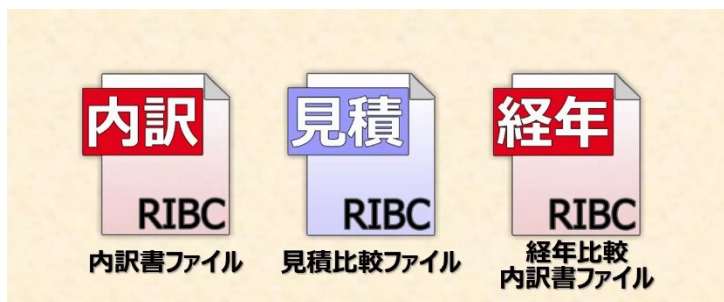
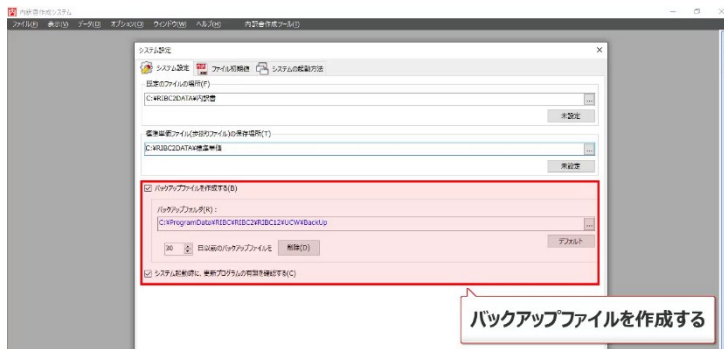


標準単価ファイル(歩掛りファイル)の保存場所は、
標準単価ファイルや歩掛りファイルを開くときに表示されるフォルダを設定します。

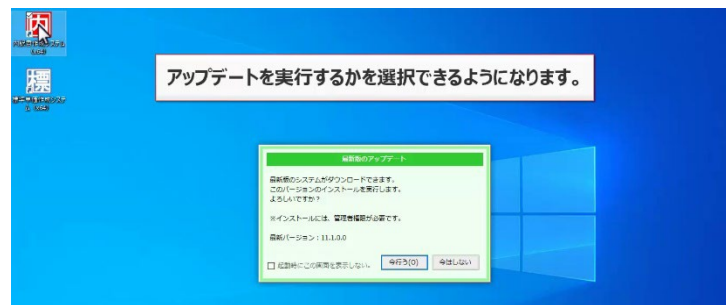
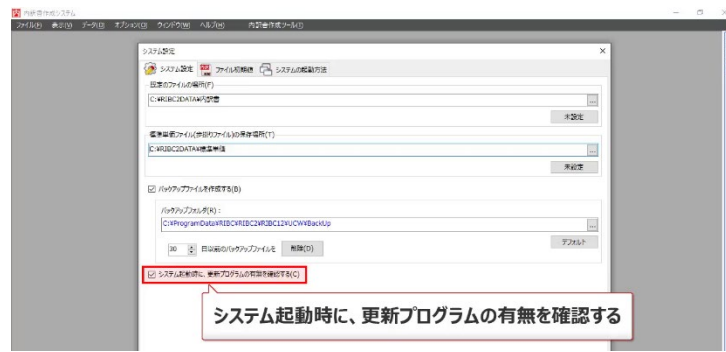




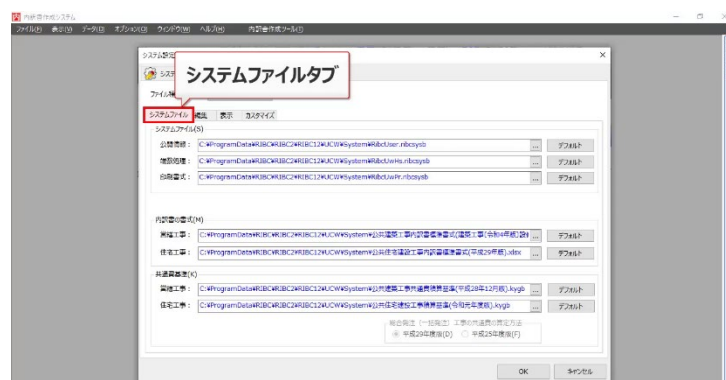
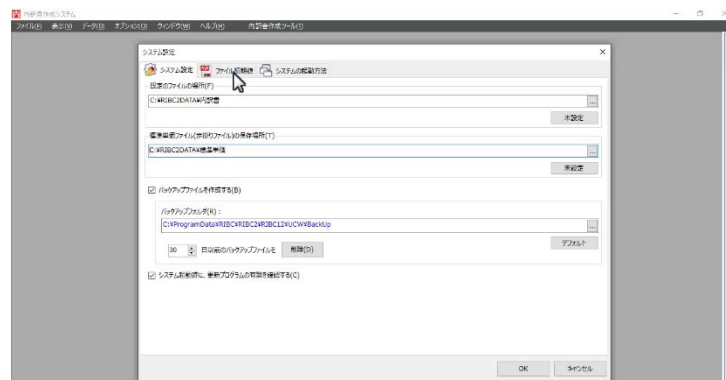
[バックアップファイルを作成する]にチェックをすると
内訳書ファイルや見積比較ファイル、経年比較内訳書ファイルなどを保存したときに
指定したバックアップフォルダにもファイルを保存します。



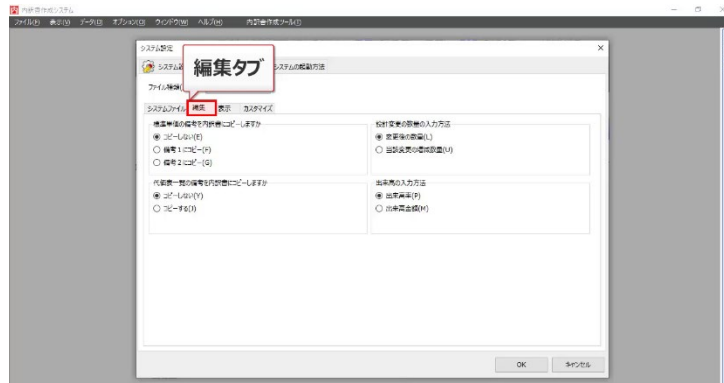
[システム起動時に更新プログラムの有無を確認する]にチェックをすると、RIBC2 の起動時に最新版の有無を確認して、最新版がある場合はアップデートを実行するかを選択できるようになります。RIBC2 の起動が遅い場合はチェックをはずします。



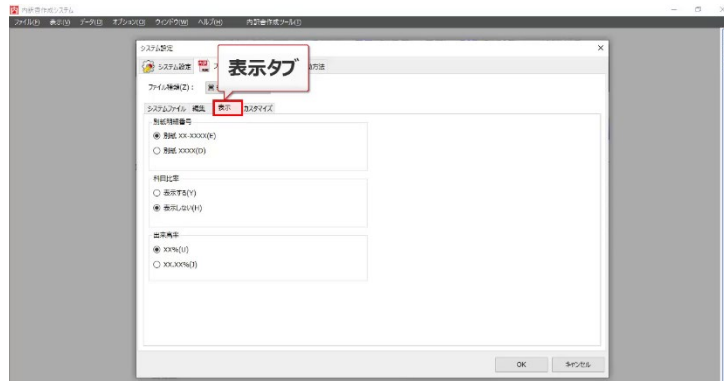
システムファイルタブでは、内訳書ファイルの新規作成時に設定される端数処理や印刷書式設定などのシステムファイルを設定します。



編集タブでは、内訳書ファイルの編集動作を設定します。



表示タブでは、内訳書ファイルの別紙明細番号や科目比率などの表示を設定します。



カスタマイズタブでは、内訳書ファイルの共通費の算定情報を設定します。

